

2026年6月30日

株式会社三菱 UFJ 銀行

## 国内スタートアップ向けベンチャーデットファンドへのLP出資について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 おおさわ まさかず 大澤 正和、以下 当行）は、今般、外部ファンド活用による多様な資金調達手段の提供を目的に、「Funds Venture Debt Fund2号投資事業有限責任組合（以下、本ファンド）」にアンカーLP投資家として出資いたしました。

本ファンドは、ファンズ株式会社（代表取締役CEO ふじた ゆういちろう 藤田 雄一郎）の100%子会社であるFunds Startups株式会社（代表取締役 まえかわ のぶひろ 前川 寛洋、以下 Funds Startups社）がファンド運営を行うベンチャーデットファンドであり、当行をアンカーLP投資家とする複数の投資家からの出資により設立されました。当行による国内ベンチャーデットファンドへのLP出資は本件が初となります。

近年、AI・半導体や量子、バイオ、航空・宇宙といったディープテック分野において技術革新が進展する中、これらの分野は我が国の産業競争力を左右する分野として注目を集めています。当該分野は、高市政権の成長戦略においても重点分野として位置付けられ、日本の成長をけん引役となることが期待され、官民一体での成長投資が進展しています。一方で、ディープテック分野では、研究開発負担の大きさや実用化までの期間の長さから、エクイティファイナンスに加えて、デットファイナンスも活用した最適な資金供給手段を整備することが重要と考えられています。

こうした中、ファンド運営を務めるFunds Startups社は、「社会的インパクトを創出するスタートアップが最も理想的な成長を遂げられる仕組みを開発する」というミッションのもと、ベンチャーデットファンドの運営や資金提供を通じてスタートアップ支援を行っています。本ファンドでは、「オールステージ・ディープテック・デットファンド」というコンセプトのもと、ディープテックスタートアップにおいてニーズの強い補助金ブリッジファイナンスと大型の設備資金や研究開発費を資金使途とする新株予約権付社債に取り組み、多様な資金供給手段の構築を目指します。

当行は、本ファンドのコンセプトに強く共感し、持続的な成長資金供給を通じてスタートアップを支援するという当行の目指す姿と合致していると考え、アンカーLP投資家として参画することといたしました。

MUFGでは、「世界が進むチカラになる。」というパーパスのもと、スタートアップ支援の決意を表明するタグライン「さあ、世界を驚かせに行こう！」を掲げています。本ファンドを通じてスタートアップへの資金供給力の強化を図り、Funds Startups社とともにスタートアップが進むチカラになることで、社会課題解決や次世代産業育成の実現に貢献してまいります。

<ファンド概要>

ファンド名称	Funds Venture Debt Fund 2 号投資事業有限責任組合
無限責任組合員	Funds Startups 株式会社
目標ファンドサイズ	100 億円
投資対象	ディープテック領域を中心とするスタートアップ ※但し、ディープテックに限らない
投資対象ステージ	アーリー～レイターステージ（オールステージ）
主な投資手法	ベンチャーデット、補助金ブリッジファイナンス、 転換社債型新株予約権付社債（CB）

<Funds Startups社概要>

社名	Funds Startups 株式会社
代表者	前川 寛洋
所在地	東京都渋谷区恵比寿西 1-10-11 フジワラビルディング 5 階
HP リンク	<a href="https://startups.funds.jp/">https://startups.funds.jp/</a>

以 上